

武蔵野プレイス(仮称) 実施設計 概要



平成 20 年 8 月

担当課 武蔵野プレイス(仮称)開設準備室

武蔵野プレイス（仮称）実施設計概要

1 . 武蔵野プレイス（仮称）のコンセプト	_____	1
2 . 空間デザイン	_____	2
3 . 環境に配慮した建築	_____	4
4 . 各階概要・平面図	_____	6
1F「ラウンジ」		
2F「コミュニケーションライブラリー」		
3F「ステーション」		
4F「ルーフ」		
B1「メインライブラリー」		
B2「スタジオ」		
B3「駐車場・機械室」		
5 . 構造について	_____	13
6 . 設備について	_____	14
7 . 配置図	_____	16
8 . 立面図	_____	17
9 . 断面図	_____	19
10 . 建築概要	_____	20

1. 武蔵野プレイス(仮称)のコンセプト

以下武蔵野プレイスと表記する

武蔵野プレイスは、「武蔵境のまちづくり推進」の一環として「図書館をはじめとした知・文化・自然・青少年をテーマとする文化施設」として整備されるものです。

図書館、市民活動センター、青少年センターなどといったこれまでの公共施設の類型を超えて、複数の機能を積極的に融合させた「知的創造拠点」と呼べるような施設となります。

「知的創造拠点」とはすなわち、知や活動の共有と集積、創造のために、人と人をつなぐという新しいサービスを展開するための施設です。

巡ることが楽しい書架、快適な読書環境、
子どもと一緒に親も読書ができるコミュニケーションライブラリー、
ゆったりとしたマガジンラウンジ、静かで集中できるワークテラス、
さまざまな顔をもつチャームなカフェとギャラリー、
青少年の居心地のよい場所、緑豊かな公園と屋上など、
魅力的なスペースには市民が自発的に集まってきます。

公園のように気軽に多くの市民が集い、あるときは、暮らしをより豊かにするためのテーマで、またあるときには、生活する上での課題を解決するためのテーマで調べ、出会い、対話しやすい場を設え、それぞれが持っている知識や知恵や経験を共有・交換しながら、知的創造や交流を生み出し、地域社会の活性化を深められるような新しい時代の公共施設をめざしています。

ここでは、このような施設のあり方を「プレイス」(場)と名付けています。

2. 空間デザイン

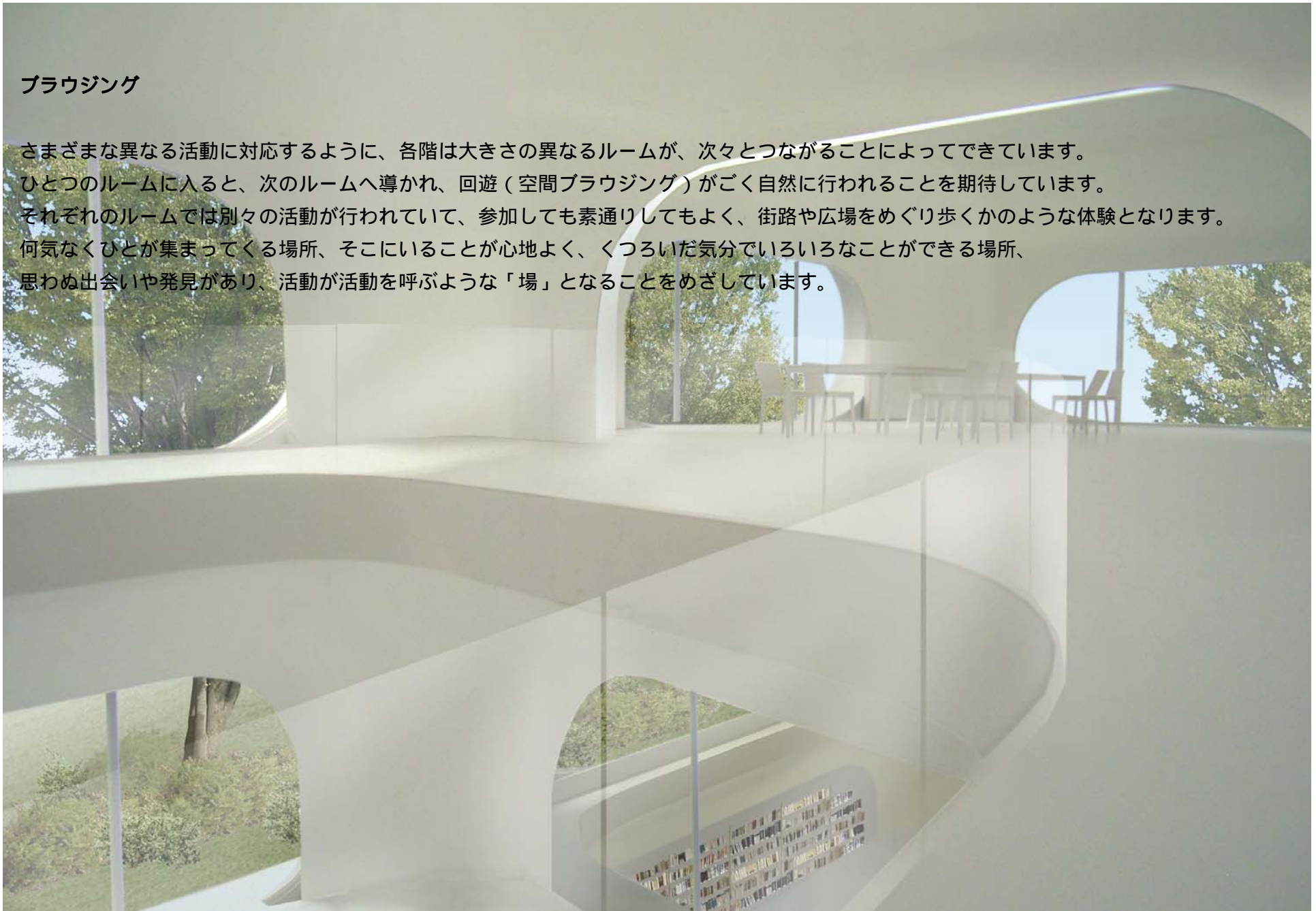
ルームの連続

内部空間は、本を捜したり情報を集めて編集したり、勉強をしたりという知的活動にとって心地よい場となるよう、ルームというひとまとまりで人のスケールに馴染む場が連なる形状となっています。それぞれの空間は、壁と天井が曲面でつながったシェル状のかたちになっており、身体的な居心地のよさをもたらすように配慮されています。

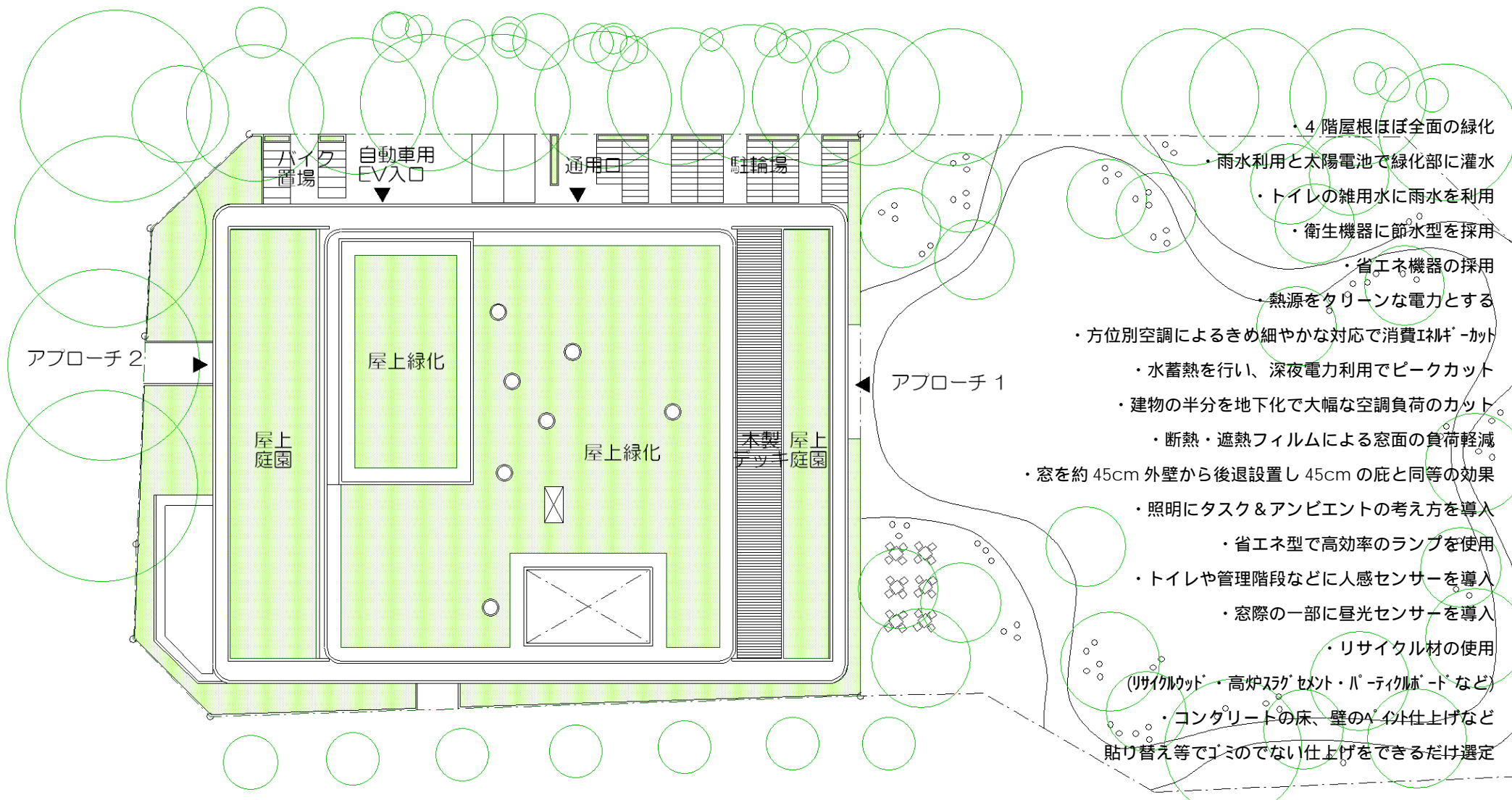


ブラウジング

さまざまな異なる活動に対応するように、各階は大きさの異なるルームが、次々とつながることによってできています。ひとつのルームに入ると、次のルームへ導かれ、回遊（空間ブラウジング）がごく自然に行われることを期待しています。それぞれのルームでは別々の活動が行われていて、参加しても素通りしてもよく、街路や広場をめぐり歩くかのような体験となります。何気なくひとが集まってくる場所、そこにいることが心地よく、くつろいだ気分でいろいろなことができる場所、思わぬ出会いや発見があり、活動が活動を呼ぶような「場」となることをめざしています。



3. 環境に配慮した建築





4. 各階概要・平面図

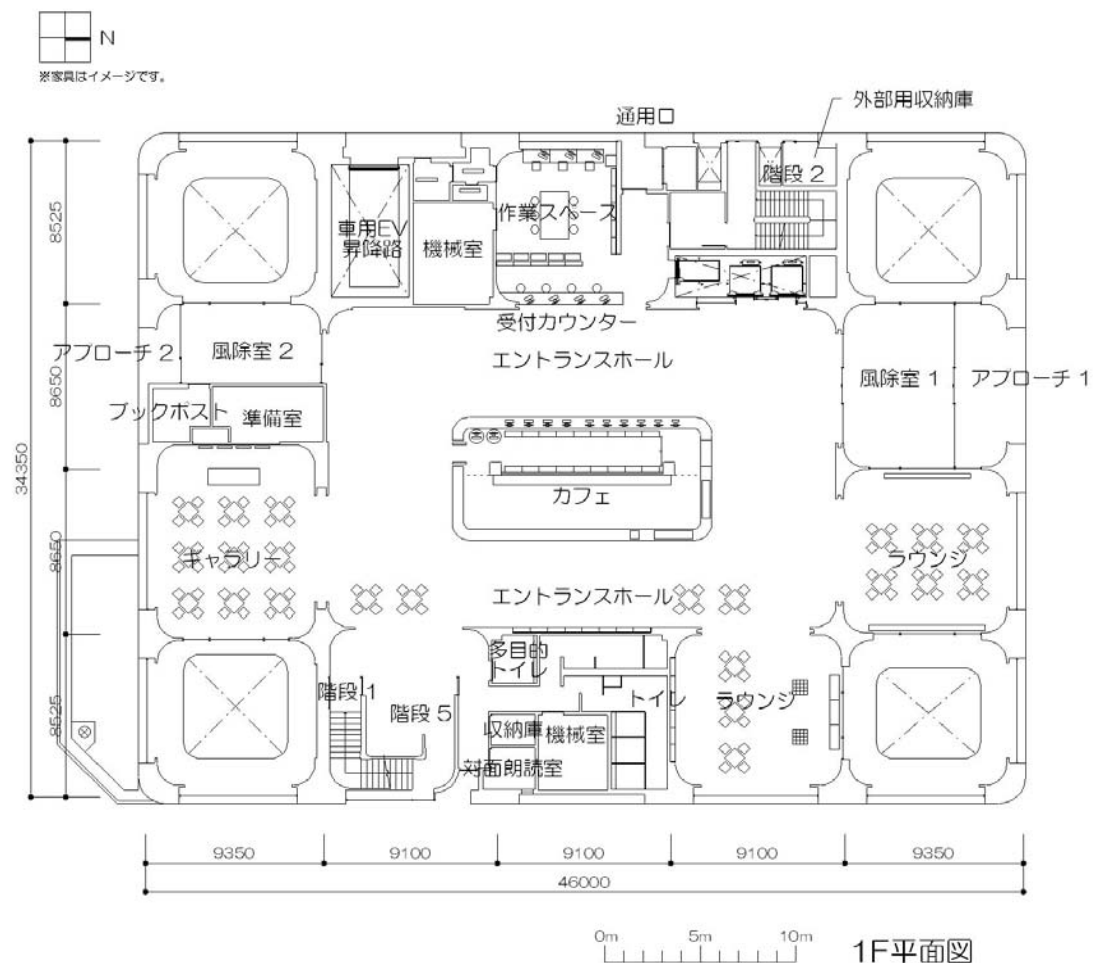
1F 「ラウンジ」

公園と境南通り側の2カ所に入口を持つ館全体のエントランス階です。

中央の大きなルームを中心に風除室、「ラウンジ」、「ギャラリー」といったルームが周囲に並びます。

「コミュニケーションカフェ」では飲食もさることながら、館の情報を得たりすることができます。「ラウンジ」には雑誌の新刊が並び、「ギャラリー」では展示やイベントなど簡単なイベントが可能です。

- ・主な天井高 3.85～3.95m
- ・風除室のドア間を長めに取り風の進入をできるだけ防ぐ配慮。誘導ブロック付きの靴拭きマットを設置。
- ・1階の多目的トイレは東京都の「誰でもトイレ」対応とし大きめのサイズ。一般トイレもエバ-ル対応で手摺やベンチを男女とも設置(各階共通)。

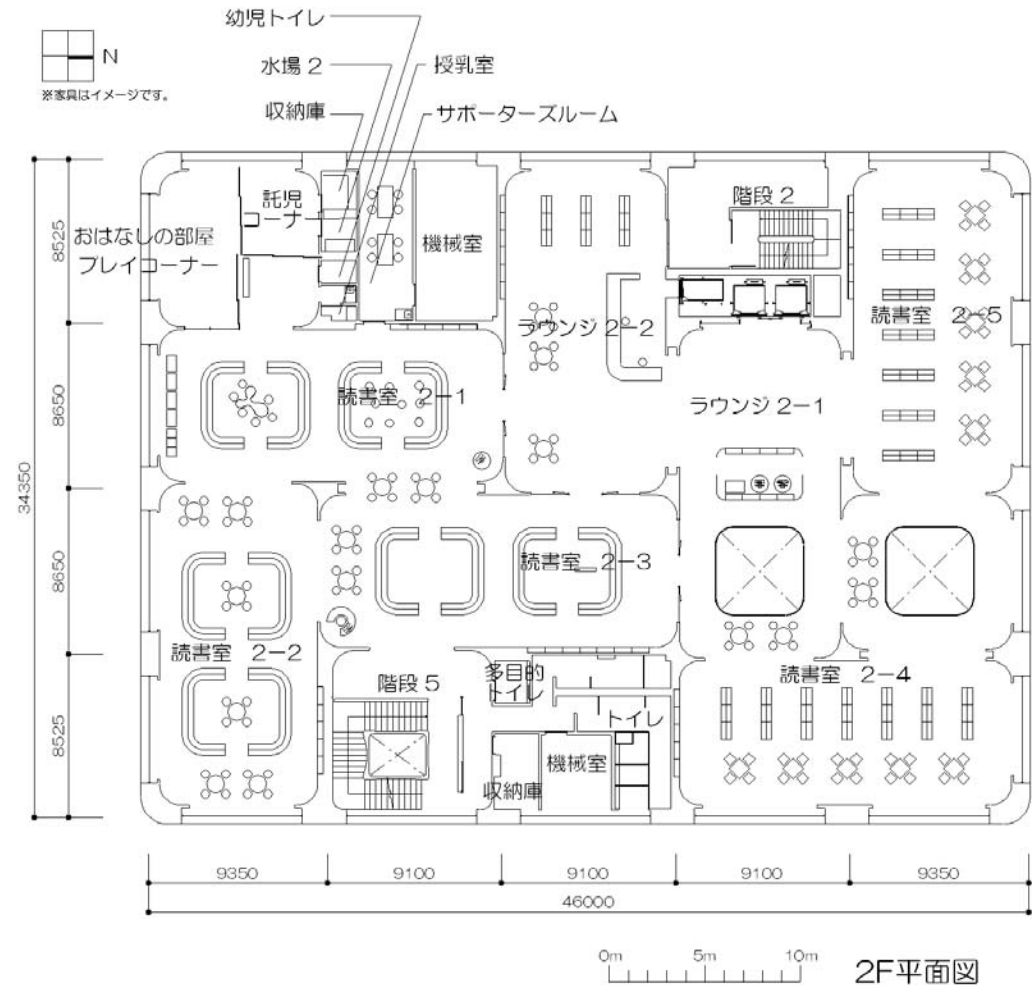


1F平面図

2F 「コミュニケーションライブラリー」

長方形のルーム7つと幼児向けのルームからなるフロアです。南側に児童図書コーナー、北側にテーマライブラリーとして生活系の図書が揃います。託児コーナーや授乳室、幼児トイレを併設し子育て中のファミリーの使いやすさに配慮しています。

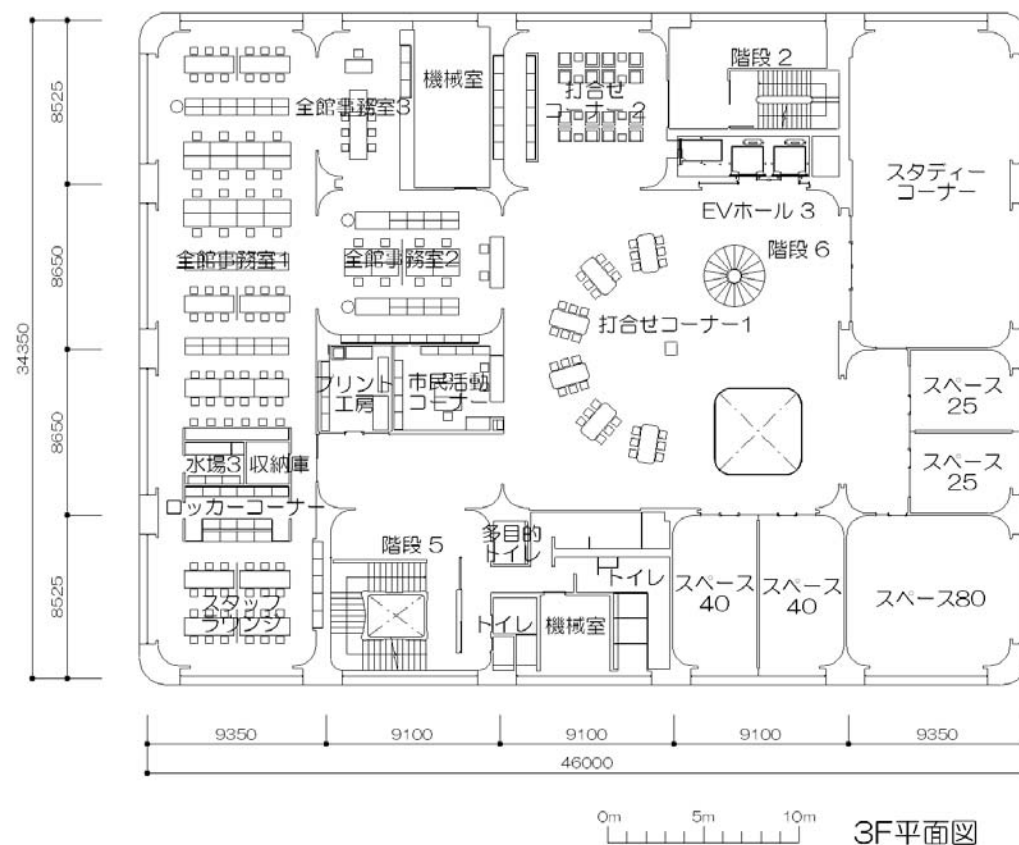
- ・主な天井高 3.6～3.8m
- ・多目的トイレだけでなく一般女子トイレにもベビーベッド設置
- ・框戸など室内のガラスには強化ガラス又は合わせガラスを使用し破損時の安全性を確保(各階共通)



3F 「ステーション」

EV 前の 4 本のルームを中心に長方形のルームや 1 つのルームを半分に分割したルームなど多様な大きさのルームで構成されています。NPO 活動、生涯学習・文化活動などをはじめとした様々な市民・文化活動のサービスステーションとして気軽に立ち寄れて、打ち合わせや、情報収集、相談、印刷などの作業を集中的に行えるフロアです。全館の事務室も配置しています。

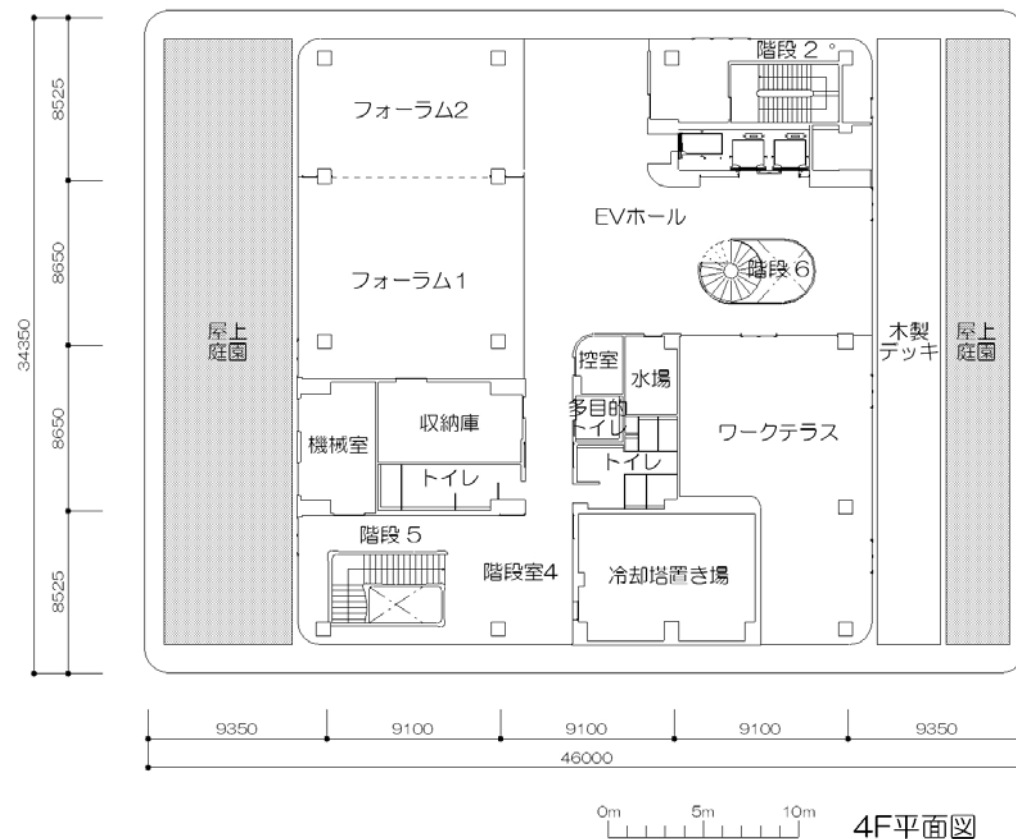
- ・主な天井高 3.7m
- ・アクティブな 3 階と静かにアイデアを考えられる 4 階を楽しげな階段で結び、連携利用が可能。



4F 「ルーフ」

緑を身近に楽しむことができる屋上庭園の中で、屋外のような開放的な場となります。レクチャーをキーワードとして人々が集まる「フォーラム」、個人が自由な発想で活動できる「ワークテラス」があります。

- ・主な天井高 2.7～3.7m
- ・フォーラムは2室に分割可能でマイク使用の講演に対応できる程度の遮音。
- ・4階の多目的トイレは東京都の「誰でもトイレ」対応としおトイレ対応の大きめのサイズ。

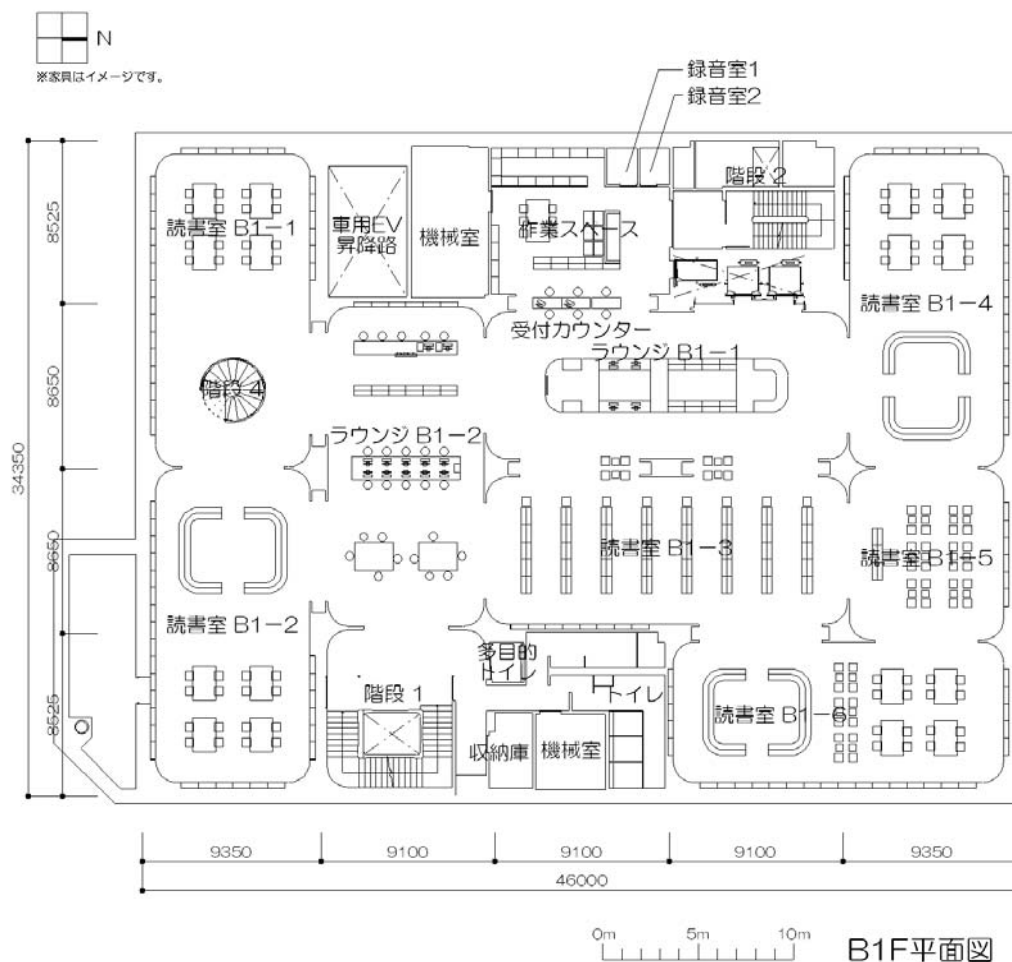


4F平面図

B1F 「メインライブラリー」

長方形のルームを中心に落ち着いた読書空間を提供します。プレイルの図書館の主階として約7万5千冊の一般図書が蔵書可能な書架を備えています。地階という利点を生かし、壁面書架を採用することにより、本に囲まれた理想的な空間が生まれ、閲覧席を充実しています。707の四隅に十分に用意された吹き抜けが、地階という落ち着きと、採光と緑の見える開放的な環境の両面を実現します。

- ・主な天井高 3.75 ~ 3.8m
- ・図書館に隣接しているため車用EVは防音仕様。



B2F 「スタジオ」

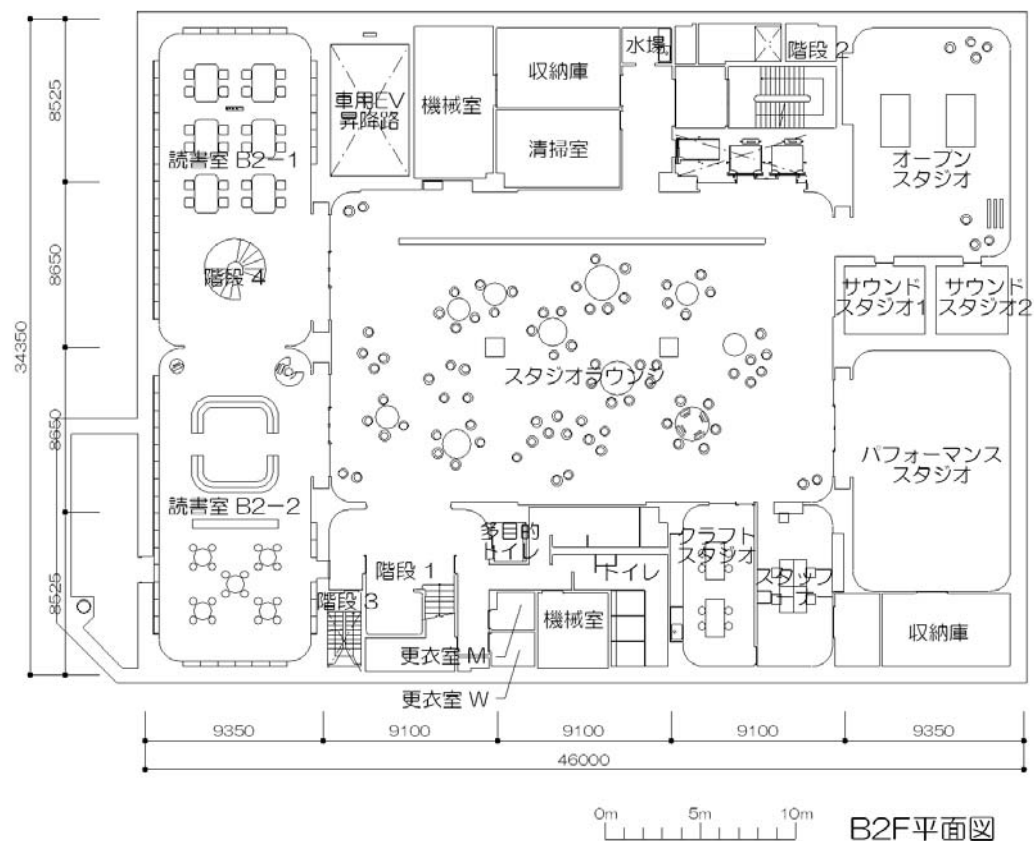
中央に大きなルームとして「スタジオ」を設け、青少年が気軽に利用できる居場所であり、リースとして様々な可能性に対応できる場としています。周囲に軽く体を動かせる「オープンスタジオ」やバンド練習などができる「サウンドスタジオ」、ダンス、演劇、コーラスの練習などできる「パフォーマンススタジオ」、美術・工芸、手芸などが行える「クラフトスタジオ」を備え、自主的な創作活動などの場を提供します。フロア南側にはアート関係の図書や、青少年向けの図書コーナーがあります。

・主な天井高 3.75 ~ 3.8m

・サウンドスタジオは完全防音。

パフォーマンススタジオは簡易防音。

・スタジオと読書室は仕切りあり。簡易防音程度。



B3F 「駐車場・機械室」

キュービクル・自家発電機などの電気室と外調機や各階に冷温水を送るポンプ室などの機械室と全館の収納庫があります。駐車場は障害者用駐車スペースも含めて 28 台を確保しています。



5. 構造について

武蔵野プレイスの構造の特徴

武蔵野プレイスは複数の機能が積極的に交錯し、新しい創造や出会いを生み出す場となることが期待されています。また公共施設として長い時間と社会の変化に対応していく必要性もあります。このことからプレイスではオープンなつながりを実現し、機能変化に耐えられる構造計画が求められています。そこで建物外周に主として耐震要素を配置し、内部は可能な限り構造から開放し、フレキシビリティに富む構造計画としています。

長寿命化の実現

公共建築として3世代の使用に耐えるように構造躯体の耐久性を確保

安全性の確保

不特定多数の利用する施設として、構造の耐震性能に通常の1.25倍の安全率を持たせる

環境に配慮する

地下2階床から4階床までをボイドスラブ、4階屋根をデッキプレートとすることで型枠材の消費抑制に配慮

構造概要

構造形式: 地上: 鉄骨鉄筋コンクリート・地下: 鉄筋コンクリート ラーメン構造

基礎: べた基礎

使用材料: コンクリート: $F_c=33\text{N/m}^2$

山留め方式: SMW(ソイルセメント連続壁)工法

6. 設備について

武蔵野プレイスの空調給排水設備の特徴

滞在・交流型の施設の空調として、長時間の読書や作業に対して心地よい場となるよう、外部負荷による変動の少ない中央部分を気流が少なく快適な輻射型の冷暖房とし、時間や天候による変動の影響の大きい周囲部分は通常の冷暖房としています。さらに外周部は方位によってきめ細やかに調整できるよう方位別空調としています。

また熱源はクリーンな電気とし、ランニングコストとピークカットに配慮して深夜電力利用の水蓄熱を行います。

武蔵野プレイスの電気設備の特徴

図書館としての居心地の良さとCO₂排出抑制に配慮し、タスク&アンビエントの照明計画を行います。すべての部分の照度を一律に上げて確保するのではなく、環境照明(アンビエント)と本を読む・探すなどに作業に必要な照明(タスク)に分けてそれぞれに必要な照度を確保します。タスクについてはテーブルランプやフロアランプとして机上面に近いところから照射することで天井設置に比べて少ないエネルギーで照度を得るように配慮します。

また一部昼光センサーにより窓際の調光を行い、エネルギー消費を押さえることに寄与します。

長寿命化の実現

機械室内を配管入^o-sとして更新やメンテナンスのしやすさに配慮

給水管を SUS 管として長寿命化

利用者の視点を重視する

子どもから高齢者、体の不自由な方などすべての人々の使い勝手を考え、自動水栓やセンサー式の洗浄など操作性・省エネ・衛生面について配慮

環境に配慮する

雨水利用を行い、トイレの雑用水・緑化の灌水として使用

地域のまちづくりに貢献する

約 600 トンの蓄熱層用水槽を防火水槽として地域の消火栓として提供

設備概要

給排水衛生設備工事

給水設備：直結増圧ポンプ+加圧給水ポンプ方式

雨水排水設備：雨水利用及び流出抑制

排水設備：分流方式、地下部ポンプアップ排水

消火設備：屋内消火栓、連結散水設備、防火水槽ブースターポンプ

衛生機器：節水型機器 自動水栓 センサーによる洗浄 対応

空調換気設備

空調設備：空冷ヒートポンプチラーユニット+水蓄熱

各階個別分散空調（空調機+ファンコイルユニット）

換気設備：各階換気（第一種換気）

機械排煙設備：特別避難階段附室の機械排煙

電気設備

受変電設備 電気室に屋外キュービクル型受変電を設ける

自家用発電設備 屋内キュービクル型 ディーゼル発電機（非常用）

電灯・コンセント設備 放電管及び、高輝度放電管使用

トイレ等 人感センサー制御

インターホンの設備 エレベーター対応用に北・南入口に設置

その他事務連絡用に設置

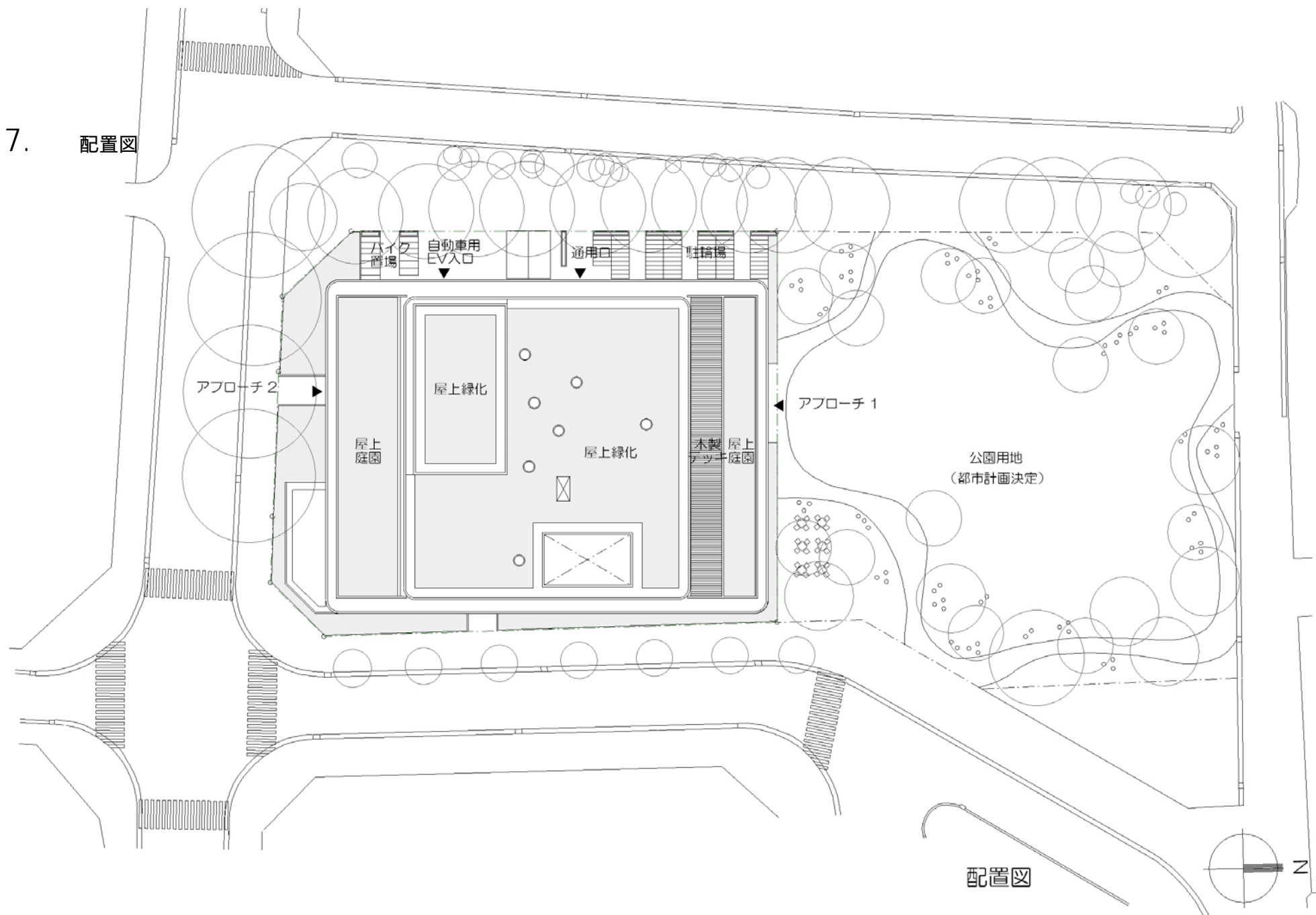
テレビ共同受信設備 CATV 引き込み

監視カメラ設備 必要に応じ ITV カメラを設け監視する

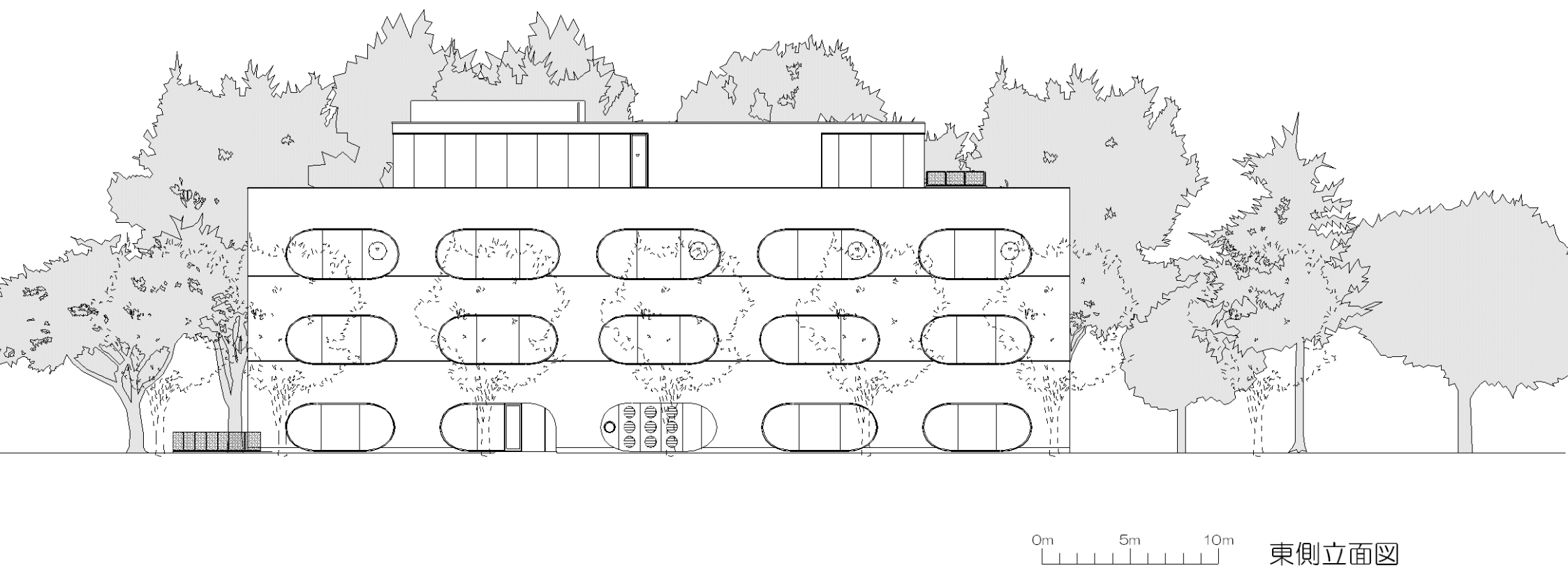
自動火災報知設備 消防法・建築基準法に基づき設置

LAN設備 無線 LAN に対応するアンテナを設置

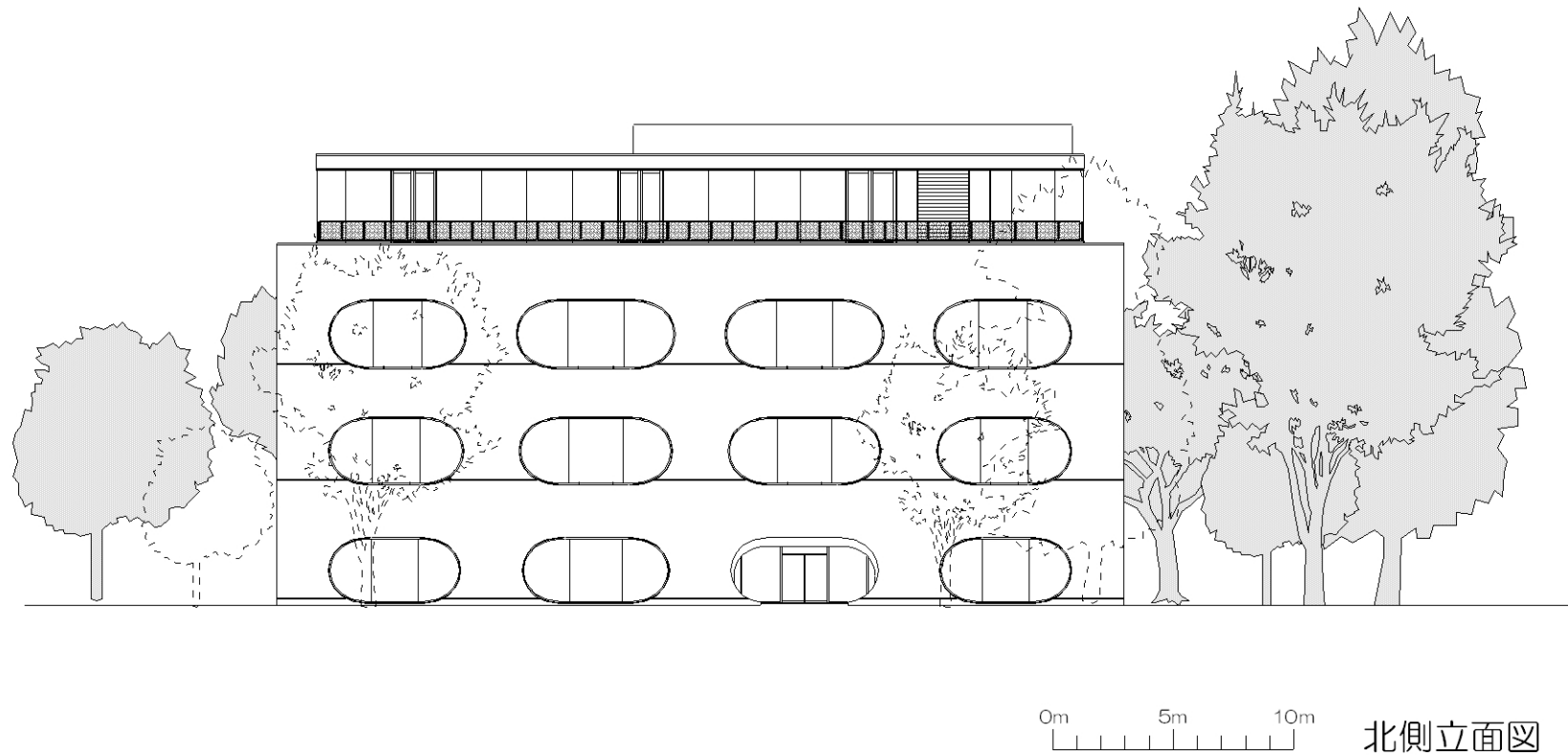
7. 配置図



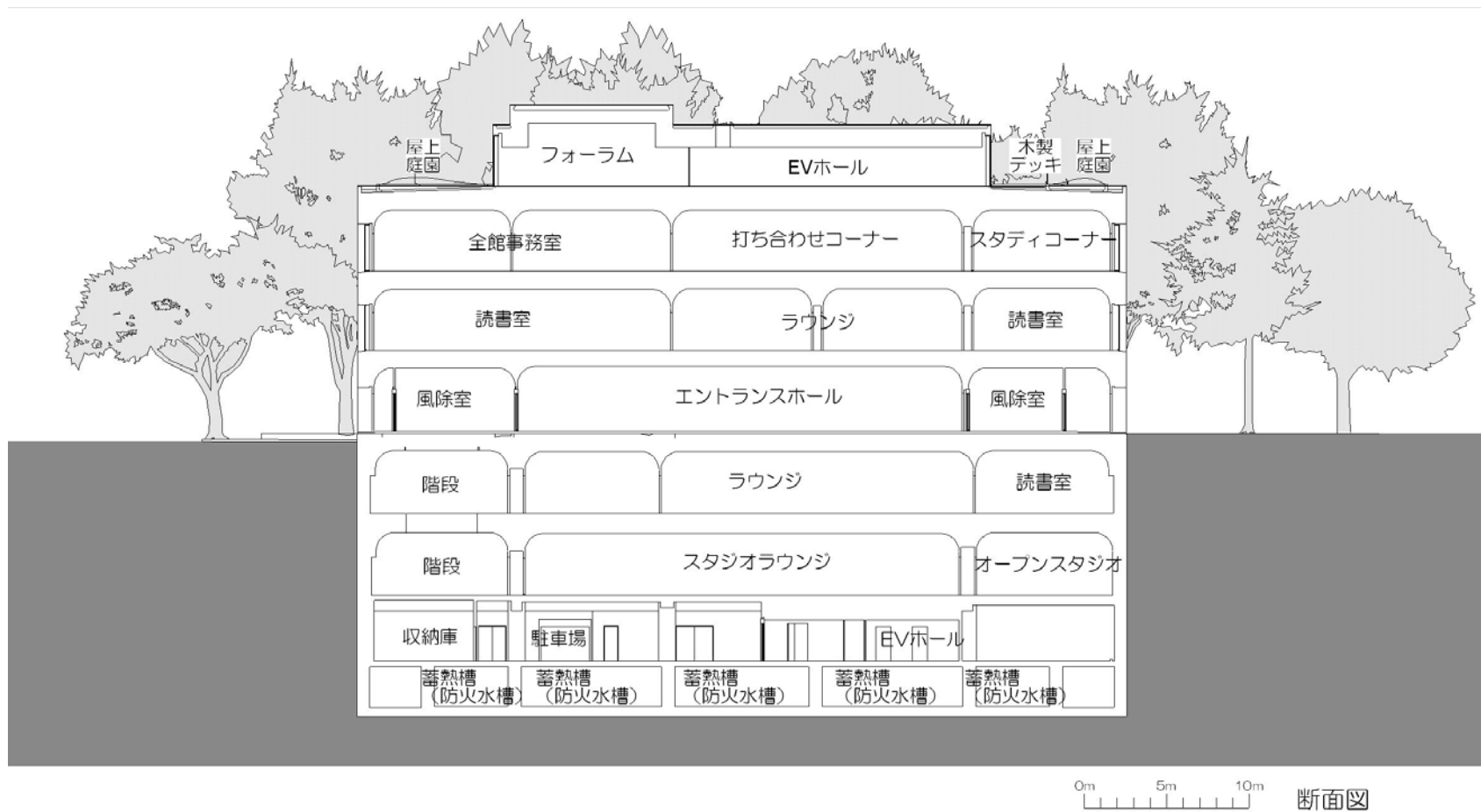
8. 立面図 - 1



立面図 - 2



9. 断面図



10. 建築概要

名称	武蔵野プレイス(仮称)	階数	地上 4 階 地下 3 階
計画敷地	武蔵野市境南町 2 丁目 3 番地	軒高	GL + 19.400 m
用途地域	商業地域	最高高さ	GL + 19.900 m
防火地域	防火地域	構造	SRC 造、RC 造
敷地面積	2,166.20 m ²	駐車台数	30 台 (B3F: 28 台 1F: 2 台)
道路	東 市道第 246 号線 法 42 条 1 項 1 号 幅員: 15m 南 市道第 73 号線 法 42 条 1 項 1 号 幅員: 16m 西 現況 市道第 74 号線 法 42 条 1 項 1 号 幅員: 6.36m (都市計画道路 武 3・4・27 幅員: 11.33 ~ 15.85m 法 42 条 1 項 4 号) 公園北 市道第 72 号線 法 42 条 1 項 1 号 幅員: 5.5m	駐輪台数	145 台
建築物用途	図書館	昇降設備	乗用エレベーター(障害者仕様 1) 13人乗 60m/min 2台 乗用エレベーター(管理用) 13人乗 カゴ奥行 2m 60m/min 1台 自動車専用エレベーター 積載量 2500kg 1台 1 ユニバーサルドアシステム、車椅子仕様、視覚障害者対応仕様 各エレベーターは地震時、火災時 管制運転とする。
建蔽率	72.55 % (許容建蔽率 100 % (建基法 53 条 5 項による))		
容積率	409.67 % (許容容積率 500 %)		
建築面積	1,571.47 m ²		
延べ床面積	9,812.96 m ² (うち駐車場等の面積 938.71 m ²)		
	B3F 1,571.51 m ² B2F 1,537.30 m ² B1F 1,571.51 m ² 1F 1,225.68 m ² 2F 1,521.81 m ² 3F 1,542.00 m ² 4F 879.41 m ²		
容積対象床面積	8,874.25 m ²		